

人権まちづくりだより

保々地区人権まちづくり推進委員会 広報グループ 令和5年3月31日 2022年度

6月6日(月)定期総会を開催しました。保々小学校の活動とコラボし取り組んでいるスマイルリボン(シトラスリボン)の紹介もさせていただきました。

スマイルリボン(シトラスリボン)とは、新型コロナウイルス感染症などに感染しても、だれもが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会になることを願い、愛媛県から始まった運動ですが、保々小学校では「スマイルリボン運動」という名称で取り組みがすすめられています。スマイルリボンをつけてお互い「ただいま」「おかえり」と笑顔で言いあえる人の輪を「地域」「家庭」「職場(学校)」に広げます。保々地区人権まちづくり推進委員会では、『STOP! 差別』の意思表示として取り組んでいます。

委員研修会



北部ブロック人権ひろば

1月29日(日)、『ネット社会の落とし穴 便利さに紛れて差別誘導される私たち』と題し、奈良大学/大学院社会学部心理学教授・社会学博士・公認心理師の太田仁(おおた じん)さんを講師に、あさけプラザホールで講演会が開催されました。コロナ禍で交流機会が減ると疑心暗鬼になる。人は人と一緒にないと生きていけない。常に助け合いながら生きているという対人関係が大切。スマホ・ネット社会にあっても人と人は繋がる心、支え合う関係がいかに大切であるかを考えさせられる人権研修会となりました。



総会



8月25日(木)、『新型コロナウイルス感染症と人権』と題し、反差別・人権研究所みえ(ヒューリアみえ)の安田賢行(やすだ まさゆき)さんを講師に保々地区市民センターで「コロナ×こどものアンケート」の結果を交えて委員研修会を開催しました。

「知らなかったこと」「見えていなかったこと」に課題意識をもち、差別問題や人権問題について正しく学ぶ。差別はする側の問題であること私たちの力で、一人ひとりが安心して自分の思いを伝えられる、伝え合うことができるそんな関係を作り、できることから着実に前進させていくことを学びました。

人権まちづくり講座第1弾

10月30日(日)、保々小学校体育館で開催しました。

人権標語・メッセージの入賞者の表彰式を行いました。表彰式後に『人権とまちづくり～まちづくりは人づくり～』と題し、ユマニテク短期大学幼児保育学科学長補佐・准教授の田村禎章(たむら さだあき)さんを講師に講演会を行いました。まちづくりは人づくり、人づくりは教育(共育)づくりと話され、体を動かしたりと楽しい雰囲気もあり、4～5名のグループに分かれ話もしました。



人権まちづくり講座第1弾 アンケートより

- ・子どもでも、大人でも、対話を大切に、そこから自分自身にできることは、何かと考えようと思います。
地域のコミュニティを広げていくことが、改めて大切だと思いました。
- ・自分と他者の大切さを理解すること。みんなで考え、みんなで行動する。
やさしい楽しい保々のまちになるように、まず自分自身から変わろうと思います。ついついYOUメッセージで発信してしまう、I(アイ)メッセージに変えていこうと思いました。
- ・人と話をすることの大切さ、福祉の主体は自分自身という言葉が印象に残りました。
- ・知らない人と話したのは、久しぶりでしたが気持ちよかったです。コミュニケーションがコミュニティにつながると再認識しました。
- ・福祉教育の意味の捉え方が変わりました。地域のつながりが、いかに助け合いになっているかと再確認しました。



地区懇談会



地区懇談会を4地区（市場・小牧南・西村・まきの木台の各自治会）で開催しました。

ヤングケアラーの現状などをお伝えし、DVD『夕焼け』を視聴しました。

地区懇談会アンケートより

- ・DVDを視聴して、ヤングケアラーというものがよくわかりました。気にかけてあげる心を持つことが大事。行政支援で何か活用できるものがあれば、そういうものの紹介もあると良い。
- ・介護の問題はヤングケアラーに限らず、大きな問題だと思います。大人であっても、助けを求める先があるのか、誰に相談したらよいかあまり分かっていません。DVDでは身近な施設、サポート（気づき）がありましたが、四日市ではどうなのか…と気になりました。

子ども人権講座



こども園で人権アニメの上映会を行いました。

手話講座が保々地区市民センターで7月13日～9月14日（8回）開催されました。

主催：保々地区社会福祉協議会

主催：保々地区市民センター

共催：保々地区人権まちづくり推進委員会



フォトクラフト写真展示・
保々地区ゆめづくり協議会の展示



人権標語・メッセージのパネル展示

連合自治会をはじめ関係者の皆様、各事業にご参加ご協力いただきましてありがとうございました。
2023年度もよろしくお願いいたします。

人権まちづくり講座第2弾

2月12日（日）、保々小学校体育館にて保々地区ゆめづくり協議会の共催で『あつまろう つながろう 保々のまち』をテーマに、各校園・各種団体の人権の取り組み・発表・展示を行いました。



朝明高校ふくし科
手話歌「みんな空の下」



保々こども園5歳児
メロディーベル「ツバメ」



々中学校フラガ保学習参加者
人権漫談+活動紹介
「差別を“しない”から“なくす”に向けて
—中学校人権学習・フラガ学習の発表—」



保々小学校6年生 総合学習の発表
「誰もが安心してくらすためには
～自分たちの気づきを伝えよう～」

人権まちづくり講座第2弾アンケート

- ・自分の固定観念や偏見が差別につながっていることもあると聞き、自分の考えを改める必要があるのかなと思いました。普段の会話の中で無意識に相手を傷つけているかもしれないことを考え、気をつけていきたいと思います。
- ・人権とは何かを考えさせられる講座でした。1人ひとりの価値観があつて、それを受容することは、とても大切だと思います。差別や偏見をなくし、住みやすい地域を作りたいと思います。
- ・地域の子どもたちや地域の学校の生徒と差別をなくす活動をしている大人が一同に会して、地域に向けて啓発の発信を重ねていくことは、とても意義のあることだと思います。社会にいるしんどい思いをしている人たちが安心して暮らせる地域、社会の実現に向けて自分ができることをしていきたいと思う機会になりました。発表していただいた皆さん、それを支えていただいた皆さんありがとうございました。